

A-05

< 初回投与後、2週、6週に投与し、以後8週間隔 >

治療日		第1日目		第2週目		第6週目		以後8週間隔
治療内容								
検査	採血	○		○		○		○
診療	副作用の問診	○		○		○		○
	検査結果	○		○		○		○
フィルター	レミケード投与には、無菌・パイロジェンフリーのインラインフィルター（ポアサイズ1.2 μ m以下）を用いること。							
前投薬	ネオマレルミンTR 1錠内服	○		○		○		○
前投薬 (option)	①カロナル錠(200)3錠 ②ソルコーテフ100mg +生食100ml 点滴静注							
点滴	① 生食50mL 点滴静注 ルート確保用	○		○		○		○
	② 生食250mL +レミケード 5mg/kg 点滴静注 【2時間以上かけて】 シュアプラグ輸液セットで	○		○		○		○
	③生食 50ml 点滴静注【②と同じ速度で】	○		○		○		○

レミケード点滴投与中または投与終了後2時間以内に認められる副作用を、投与時反応(Infusion reaction)という。	投与中はバイタルサイン（血圧・脈拍・体温）を定期的にチェックする。
軽度～中等度の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・レミケード点滴速度を遅くするまたは中止 ・ジフェントラミン25～50mg経口または静注 ・アセトアミノフェン650mg経口投与 ・ヒドロコルチゾン100mg静注 <ul style="list-style-type: none"> ・投与時反応消失すれば10ml/hrで投与再開。 ・投与時反応の症状不変または増悪時はレミケード投与中止し、適切な処置を行う。
重篤の場合	<ul style="list-style-type: none"> ・レミケード投与中止 ・生食500～1000ml/hrで点滴 ・アドリナリン注0.1%シリンジ0.1～0.5ml皮下注(5分毎に3回まで) ・メチプレドニゾン50～100mg静 <ul style="list-style-type: none"> ・ジフェントラミン30～50mg静注 ・アセトアミノフェン650mg経口投与 ・投与時反応消失すれば10ml/hrで投与再開。 ・投与時反応の症状不変または増悪時はレミケード投与中止し、適切な処置を行う。